

港区立本村小学校
令和5年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習は「読む」力があっても、「書く」力が十分に身につけていない児童が多い。 ・自分の思いや考えが明確になるように、文章に書くことに苦手意識をもつ児童が多い。 ・既習事項を活用、応用することを苦手とする児童が多い。
社会	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・「長さ」「かさ」「時こくと時間」の問題別正答率が低く、特に文章問題での文章や言葉の理解が課題である。 ・「長さ」「かさ」「時こくと時間」など単位の測定の学習では、単位の意味理解を定着させるとともに、日常生活の中で長さやかさ、時間についての量感を養うように繰り返し返し促していく必要がある。
理科	

2 各教科の具体的な授業改善

国語	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書く能力」 ・言語事項 漢字 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に文章を書くことが少ない児童が多いため、学習の振り返りや、日記や作文、視写等「書く」という学習に多く取り組ませていく。 ・漢字の学習を通して、言葉集め等の機会を多く設ける。また、日記、作文等の指導の際に、既習の漢字を使用するように繰り返し指導を行っていく。
社会	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>
算	<p>育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的な考え方 ・ 長さやかさ、時間の単位や測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の知識技能を問題に発展的な自分の考えを絵や図、言葉でノートに表す時間を設ける。集団検討の前にペアでの交流時間を設ける。 ・ 単位の意味の理解を定着させるとともに、日常生活の中で長さやかさ、時間についての量感を養うように促す。
--	---	---

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動植物を育て、観察することにより自然への関心を高める。 ・ 具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中での気づきの質の向上 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>野菜の栽培を通して、自然への関心を高めさせる。また、探検活動などを通して季節ごとの虫やの植物の観察をし、季節の変化を感じさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小グループでの話し合いや発表会など、友達と交流する機会を設けることで友達の考えのよいところに気付けるようにする。 ・ 授業では、活動の過程を大切にし、絵や振り返りだけではなく、つぶやきや発言、思いを大切に拾っていく。意図的に取り上げることによって、自分や友達によさに気付けるようにする。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽にあった歌い方を工夫する力 ・ 鍵盤ハーモニカの基本的な技能 ・ 音楽を聴いて感じたことを言葉で表現する 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌うときの姿勢や声の出し方を身につけ、様々な声の出し方を工夫できるようにする。 ・ 音の名前を徹底的に覚え、指が音楽に合うなめらかな動きになるように、演奏の基礎を定着させる。 ・ 日頃から聴いた音楽がどの様に感じたかを、こまめに聞き取りをし、表現に適していた言葉があったら全員で共有し、その言葉を何度か繰り返し表現できるように指導する。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>育成を目指す資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎・基本の定着 ・ 感触を通しての発想・構想する力 	<p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はさみの刃先や奥の使い分けによる切りやすさや使い方の違いを体験させながら、基本的な技術の定着を図る。絵の具の扱いでは、水の量を試しながら経験して学ばせる。 ・ 手や道具を使って感触を味わいながら、感じたことや想像したことをどのように表すか考えさせる。

家	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫

--	--	--

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の技能 ・各種の運動遊びの行い方を工夫する、考えたことを他者に伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・投げる、走る、跳ぶ、転がる、のぼる、おりる、ぶら下がる等の動きの基本となる運動に重点を置き、身に付けさせる。 ・学習カードやペアワークを活用し、友達のよいところや自分の工夫したところを伝える機会を積極的に設ける。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動に親しむ態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・NTの発音やゲームのルール説明を正確に聞き取れず、消極的な児童がいるため、そのような児童には適切に個別の支援を行うことで、意欲的に取り組めるようにする。 ・学習の振り返りの時間を設けることで、児童の外国語活動への取り組みの様子や理解の様子を適切に評価し、次時に生かしていく。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪の判断、自律、自由と責任に関する心情を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の体験を想起しやすい資料・教材を用意する。 ・考える必然性のある発問や自由な思考を促す発問を通して、自我関与を促す。ペアでの対話やグループによる話し合い、友達の考えを聞き合うなど、多面的多角的に考えられる時間を取り入れる。 ・書く活動は、児童が自ら考えを深めたり、整理したりする機会として必要な時間を確保する。 ・動作化、役割演技を通して理解を深め、自分のこととしてとらえられるようにする。 ・終末の自己を振り返る時間を多くとることで、自分自身にどのように生かしていきたいかを考えさせる。

特	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学級作りへの意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級での話し合い活動を定期的に行い、「話し方」「聞き方」について確認をし、円滑に学級会を行えるようにする。 ・係活動は、1年生の経験をもとに必要なものを自分達で考えさせ取り組ませる。係活動の振り返りの機会を定期的に設け、充実を図る。
--	---	--

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫